

第20期運営委員辞任理由 (五十音順)

注記：ML転記文を含む以下のご報告集を、7月19日に公開の後、百田さんより、MLでのご報告が一信分抜けている旨のご連絡がありましたので、そのご連絡文を含め、当該投稿文を第2信とし、このたび改訂版として改めてご報告させていただきます。(戸田)

小濱義久さん(2012年3月31日付退会)

<5月末日の期限までに理由書の提出はありませんでした。>

.....

酒井良輔さん(2012年月日付運営委員会ML投稿にて辞任表明)

<期限までに新たに理由書の提出がありませんでしたので、提案通りML投稿文の掲載を了承いただいたものと判断し以下にメール投稿本文のまま転載致します。>

皆様ご無沙汰しております。運営委員の酒井です。

先の総会、運営委員会共に欠席してしまい大変申し訳ありません。

残念ながら、20日、21日の運営委員会も休みの都合がつかず、欠席させていただかなければなりません。

毎度勝手なことを申し上げ迷惑おかけします。

私事ながら、若干の環境の変化もあり、色々と余裕のない毎日を過ごしております。正直今の状況で学会に貢献できるとも思えず、このまま委員としていいのかと疑問を覚えながらも、今までできてしまいました。

7月の大連大会に参加することもかなり難しい状況です。

大変申し訳ありませんが、現時点をもって運営委員を辞めさせていただけないでしょうか。

最初からこのような大役が務まるような立場でも、また力もなかったと理解はしていましたが、最終的にこのような不甲斐ない結果となってしまったことを承認していただいた全会員の皆様に申し訳がたたず、大変遺憾に思います。

大変ご迷惑おかけして申し訳ありませんでした。

.....

野村一永さん(2012年月日付運営委員会MLにて辞任表明)

自分の学会政治への無理解と、器量技量力量不足の痛感故、職責は務まらないと判断した次第です。

(2013年4月24日メールにて受領)

.....

藤原桂舟さん（2013年3月31日付け退会）

本日、臨床心理学研究 第50巻・第二号が届きました。

私も一部を編集させていただいたので、予定通り、3月中に刊行されたこと、とても嬉しく思っております。

編集委員の責任を果たしましたので、これで、日本臨床心理学会とその運営委員、編集委員を辞めさせていただきます。

仕事の負担が大きくなったため、これ以上は続けることができません。

いろいろな経験をさせていただき、感謝しております。

藤原桂舟（2013年3月30日運営委員会ML投稿にて受領・5月25日掲載了解意志確認のお便りを受領）

.....

宮脇稔さん（2012年12月2日付第四回運営委員会にて辞任表明）

辞任理由

宮脇 稔

戸田事務局長より、任期途中で6名もの運営委員の辞任は極めて異例で深刻な事態であるため、2013年8月10日の定期総会で一般会員に対してこれに至った理由を説明することになった。そのため学会員にむけた本人からの説明文書がほしい。

との要旨の要請をメールでいただきましたので以下に述べさせていただきます。

任期途中で副委員長の役職を放り出して辞任しましたことを、学会員の皆様にまずお詫びします。

本来ならば、任期を全うすることが副委員長の責任であると思っております。

にもかかわらず2012年12月2日の運営委員会2日目の席上で一方的に辞任表明をさせていただきました。辞任理由はその席上「7月20日の事件の真相は？」という印刷物を配布したうえで述べさせていただきました。

その詳細をここに記すことは、文章が独り歩きしてしまう懸念がありますので、簡単に記させていただきます。経緯の詳細が必要であれば、2013年8月10日の総会の場で具体的に報告させていただきたいと思います。

2012年7月20日に当学会編集委員長（以下編集委員長）が当学会前運営委員長（以下運営委員）の職場を突然訪問しました。後日編集委員長から訪問報告がありましたが、その内容に対して運営委員からも報告が出されました。そして2人の報告内容は全く違ったものでした。運営委員の報告では、編集委員長の訪問時の言動が常軌を逸しており職場の関係者に多大な迷惑をかけたとありましたが、編集委員長は運営委員の報告は全くのものでたらめであると反論しました。

訪問先の多くのひとびとを巻き込んだ事態ですので、ことは2人の個人的問題でなく、学会としてきちんと対応する必要があると考え、運営委員長と相談の上、宮脇が事実確認と、先方への対応のため運営委員の職場を訪問することにしました。

2012年8月24日に運営委員の職場の責任者（副所長）から当日の様子を具体的に伺い、了承を得て会話を録音させていただきました。

副所長の話はほぼ運営委員の報告を裏付ける内容でした。宮脇はその場で編集委員長の言動が多大な迷惑をかけたことを学会としてではなく、副委員長個人として謝罪しました。副所長からは、当日の編集委員長の言動を観察して、関係各部署に緊急事態に備えるようにと伝えていたが、威力業務妨害になる事態には至らなかったため、これ以上ことを荒立てるつもりはないとの言葉をいただき、個人の謝罪で許していただきました。

後日9月8日に、録音の掘り起し「7月20日の事件の真相は？」と録音のコピーを運営委員長にメールで送りましたが、先方に許していただけたこともあって、あえて当事者2人を含む運営委員の誰にも報告しないことを運営委員長に伝えました。

結果的には宮脇のその甘い判断が、辞任の直接原因になりました。

運営委員長報告後3ヶ月ほど経過した12月2日の運営委員会2日目に、編集委員長は7月20日の訪問に関する運営委員の報告が虚偽であるとあらためて、運営委員会の議題に上げました。それを受けて宮脇は、報告書「7月20日の事件の真相は？」を運営委員各位に配布し、訪問先の副所長にお会いして編集委員長のその時の言動について伺い、伺った内容をもとに個人として謝罪し、謝罪を受け入れていただいたことを報告しました。

副所長には事を荒立てずに宮脇個人の謝罪で事態を納めていただきましたが、編集委員長による虚偽報告への議題提出に対して、運営委員会という学会

の公式の場で、宮脇が訪問先での編集委員長の言動を明らかにした以上、今度は先方に対して一個人の謝罪で済ますことはできなくなったと考えました。

学会としての公的な謝罪が必要だと考えましたが、とりあえず学会を代表する役職者の誰かが早急に責任を取る必要が生じたと判断しました。そしてその責任を取るべきなのは以下の理由で宮脇にあると考え、その場で辞任することを表明し退席しました。

第一に副委員長である宮脇の、事態は収まったという判断の甘さ。

第二に編集委員長は自分の行った言動の責任を感じておらず、すぐに謝罪するあるいは責任を取ることは考え難いこと。

第三に委員長は大会開催の大任があり、今責任を取って辞めるわけにはいかないこと。

以上が宮脇の任期途中における辞任理由です。

(2013年6月4日メール添付文書にて受領)

.....

百田功さん

[百田功さん 1 信を改訂:以下](#)

日本臨床心理学会事務局さま

「20期運営委員辞任理由書」ですが、1 信の前の年末2012年12月24日に運営委員 ML01450にて送付した理由の掲載をお願いします。

これがないと宮脇氏との関連がわかりませんので。

念のため貼り付けます。よろしくをお願いします。

百田功さん第1 信)

運営委員のみなさま

百田です。

宮脇元副運営委員長のこと、私が先だって2 日目の運営委員会を欠席している間の突然のことで、大変驚いております。

宮脇さんからは、「臨心をよろしくお願いします」との言葉をいただいておりますが、このたび私が運営委員を引き受けさせていただくことになったのは、宮脇さんからの強いお勧めとサポートのお約束があったからです。

なにぶん学会運営委員というような大役は、全くもって初めてのことであり、右も左もわからない中、何もしようのないまま、1年が過ぎようとしています。ここで思うのは、運営委員は自分には全く力不足であったということと、宮脇さんがいなくなった後の、運営委員を続けていくだけの気力・モチベーションの維持がとても難しいということです。

総会の席上で、運営委員を承認していただいた学会員の皆さまには大変申し訳ないのですが、このままこれ続けることは、さらに申し訳ないことになる可能性も大きいので、本年をもちまして、運営委員から身を引かせていただこうと思います。

勝手なことで申し訳ありません。

百田 功

。。。

百田さん第2信)

運営委員および編集委員の皆さま

昨年末にも表明させていただきました通り、昨年をもちまして、日本臨床心理学会運営委員および編集委員を辞任させていただいております。

MLからの削除をお願いいたします。

無責任な形となり、申し訳ありません。

短い間でしたが、お世話になりました。

百田 功

(2013年1月13日付運営委員会ML投稿にて辞任表明)

。。。

百田功さん第3信)

文書提出が遅くなっており、申し訳ございません。

辞意理由についてですが、基本は運営委員会MLにてお知らせさせていただきました通りです。

したがって、宮脇元委員と思いを同じくしているということで、宮脇元委員の文書提出を待ってから、お返事をさしあげるつもりでございました。

といっても、全く人まかせにしているというわけではなく、この間も宮脇元委員と

はこのことについての話はしており、辞意理由についてもそういう形での返答をする旨了解をとっております。
よろしく申し上げます。

百田 功（2013年5月25日メール本文にて受領）

。。。

百田功さん第4信)

宮脇氏からの辞任理由文書受け取りました。
また、当方の辞意にまつわる文書の取り扱いについてのお問い合わせ承りました。
当方のMLの文書を掲載していただき、注記をしていただければ結構です。
それとともに宮脇氏が文書として示した辞任理由については、理解できるし賛同もできるということです。
よろしく申し上げます。

百田 功（2013年6月4日メール本文にて受領）

。。。。。。

=====

付録：＜事務局長よりの依頼文＞

小濱義久さま
野村一永さま

ご無沙汰申し上げておりますが、おかわりございませんでしょうか。

4月20日・21日の第六回運営委員会がございました。
この議場におきまして、各位のご辞任が、あらためて確認されました。
これまでの本学会運営委員会へのご貢献、まことにありがとうございました。

この運営委員会の際、「任期途中で6名もの運営委員の辞任は極めて異例で深刻な事態であり、これに至った理由を、一般の会員に対して、ぜひとも説明すべきである」との意見が、長く運営委員を務めてこられた複数の方々により提出されました。

本年8月10日の総会をもちまして、20期運営委員の任期は終了し、21期役員の選出が行われます。

この8月の定期総会においては、現任役員各自の総括が行われることとなりました。これに併せて、元20期運営委員をお務めいただきました方々からも、ご辞任に至られた理由などにつきまして、会員の皆さまにご説明を頂く文書を賜りたくお願い申し上げます。昨日の運営委員会にて決定いたしました。これらは、総会資料集に含めて会員に配布されます。

つきましては、たいへんご多用とは存じますが、御玉稿を賜りますれば、まことに幸いです。

- ・文字数：任意
- ・書式：任意（メール本文貼付可）
- ・締切：5月末日厳守

メール送付先：事務局長宛：[<メールアドレスに付き略>](#)

ご多忙のこととは重々拝察致しますが、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

日本臨床心理学会事務局長 戸田游晏拝

（2013年4月23日付け、第一報依頼文）

宮脇稔さま
藤原桂舟さま
百田功さま
酒井良輔さま

ご無沙汰申し上げておりますが、おかわりございませんでしょうか。

4月20日・21日の第六回運営委員会がございました。
この議場におきまして、各位のご辞任が、確認されました。
これまでの本学会へのご貢献、まことにありがとうございました。

この運営委員会の際、「任期途中で6名もの運営委員の辞任は極めて異例で深刻な事態であり、これに至った理由を、一般の会員に対して、ぜひとも説明すべきである」との意見が、菅野委員をはじめ長く運営委員を務めてこられた複数の委員の方々により提出されました。

本年8月10日の総会をもちまして、20期運営委員の任期は終了し、21期役員を選出が行われます。

この8月の定期総会においては、現任役員各自の総括が行われることとなりました。これに併せて、元20期運営委員をお務めいただきました方々からも、ご辞任に至られた理由などにつきまして、会員の皆さまにご説明を頂く文書を賜りたくお願い申し上げます。昨日の運営委員会にて決定いたしました。

つきましては、たいへんご多用とは存じますが、御玉稿を賜りますれば、まことに幸いです。

- ・文字数：任意
- ・書式：任意（メール本文貼付可）
- ・締切：5月末日厳守

メール送付先：事務局宛：[<メールアドレスに付き略>](#)

ご多忙のこととは重々拝察致しますが、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

日本臨床心理学会事務局長 戸田游晏拝

（2013年4月22日付第一報依頼文）

<5月24日付け未提出各位へのリマインダー>

小濱義久様
宮脇稔様
藤原桂舟様
百田功様
酒井良輔様

先月22日・23日に以下のようなお知らせをさせて頂きました。

ですが、現在のところ、野村様以外の方からのご返信は頂けておりません。

ご多用のところ、まことに恐縮でございますが、複数手段での告知手配等の事情もあり、5月31日の締切までにお送り頂けましたらまことに幸いです。

また、運営委員会MLにて既に辞意理由をお知らせ頂きました、藤原様、百田様、酒井様につきましては、MLへの投稿文面を以て代えさせて頂くことをご提案致します。

この件にご異存がございましたら、締切までに、ぜひ御稿をお寄せくださいませ。締切までに御稿が届きませんでしたら、ご了承を賜ったと判断致し、MLに投稿され

た文面をそのまま、総会にての運営委員会報告資料内に所収させていただきます。

なお、小濱様、宮脇様

もし締切までの御稿を賜りませんでしたら、「賜らなかった」との旨の総会にての報告となりますので、なにとぞご了解をいただきたくお願い申し上げます。

以上、取り急ぎ、お願いとご連絡を申し上げます。

戸田游晏拝

。。。。。。。。 4月22日・23日付け送付の記述<略>。。。。。。。。